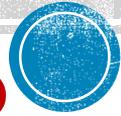




# 支援機器の導入・選定

## 第V章 支援機器選定(Webサイト)



### 【解説】

第V章では、支援機器を選定する際に参考となる主なWebサイトを紹介していきます。なお、ここからは各Webサイトを見ながら進めていくと理解が深まります。



## 【解 説】

こちらは公益財団法人テクノエイド協会が公開している「障害者自立支援機器情報システム」になります。福祉機器のメーカー、対象分野、使用場面などによる、絞り込み検索が可能なデータベースです。

まず、支援機器の名称が分かる場合の検索の仕方を見てみましょう。フリーワード検索にトーキングエイドと打ち込み、検索ボタンをクリックすると該当する機器が示されます。次に機器の名称をクリックしてみましょう。当該機器の概要や販売価格などが示されます。また、利用事例なども紹介されています。さらに関連機器の紹介もあり、これをクリックすると、その機器の詳細が示されます。



## 【解 説】

今回は、対象分野から該当する支援機器を選んでみましょう。会話が難しい、でも他者とコミュニケーションがとりたいといったニーズがあるとします。

対象分野から探すから障害者のコミュニケーションを支援する機器を選択してみましょう。検索をクリックすると、該当する機器が示されます。また、使用場面から検索することも可能です。

例えば、トーキングエイドは就学や就労の場面などで使用されることが想定されるので、就学のボタンをクリックしてみます。そうすると、トーキンエイドが該当する機器として提示されました。

同様に就労のボタンをクリックしてみます。やはり、トーキングエイドが該当する機器として提示されました。この「障害者自立支援機器情報システム」は、使用場面やメーカーから製品を絞り込みたい場合などに活用可能なデータベースとなります。

## 福祉用具情報システム (TAIS)

福祉用具情報システム (TAIS) は、国内の福祉用具製造事業者又は輸入事業者から、「企業」及び「福祉用具 (※)」情報を収集し、当協会のホームページから情報発信するシステムです。

利用者や介護者の状態に即した適切な福祉用具を選定するためには、利用される方の身体状況や使用環境などの情報に加え、使用する用具の「仕様」や「機能」、「性能」などに関する情報が必要です。TAISは、全国に散在する福祉用具に関する情報を収集・分類、体系化し、情報提供することによって、福祉用具の適切な選定及び利用の推進に寄与するものです。

TAIS: 「Technical Aids Information System」の略

(※) 介護テクノロジーを含む。

介護テクノロジーとは、令和6年6月28日、厚生労働省と経済産業省においてプレスリリースされた「介護テクノロジー利用の重点分野」に該当する9分野16項目の機器等も含まれます。

令和7年8月18日現在 **18,379件**

フリーワード	商品名、型番、企業名など	検索
TAISコード	半角数字 - 半角数字	
TAISコードを追加		

## 【解 説】

次に紹介するのは、同じく公益財団法人テクノエイド協会が運営する「Technical Aids Information System、タイス」です。全国の福祉用具製造事業者や輸入事業者の製品情報を体系的に網羅しており、タイスコードと呼ばれる企業コードと、用具コードにより福祉用具が検索できます。

タイスでは、製品名、型番、用途、価格などの詳細情報が統一フォーマットで管理されており、福祉用具の検索のみならず、それぞれの比較ができることも特徴です。

簡単に使用方法を見てみたいと思います。フリーワードに「車いす」と入力してみましょう。車いすおよびその関連品として646件の登録が確認できます。

では、ここで昇降式車いすと入浴用車いすのチェックボックスを選択して、福祉用具を比較してみたいと思います。すると、それぞれの製品の詳細が示され、比較検討することができます。



## 【解説】

このほかの検索手段としては、「介護保険の種目からの検索」「介護テクノロジーのカテゴリーからの検索」「利用シーンからの検索」「主な利用場所から検索」があります。また、これらを組み合わせて検索することも可能です。

例えば、「トイレでの立ち座り」を支援する機器を利用シーンと利用場所の組み合わせで検索してみたいと思います。利用シーンは「立ち座り」を選び、利用場所は「トイレ」にチェックを入れます。検索すると、関連する1640件の機器が示されました。

このようにタイスコードを知らなくても、検索は可能ですが、タイスコードはもともと、介護保険において客観的な製品情報の提供、適切な福祉用具の選定支援、介護保険給付の円滑化を目的に作成されたものになります。

情報アクセシビリティ支援ナビ (Act-navi :アクトナビ) は、

- ・ 障害者や高齢者の困りごとを解決できるICT機器(製品)やサービスに関する情報を提供すること
- ・ 情報アクセシビリティに配慮した製品・サービス開発を行うおうとする者に有益な情報を提供し、障害者等の困りごとを解決する開発の促進に寄与すること

これらを目的としたデータベースです。  
障害や年齢によるデジタル・デバイドの解消の一助になるものとして、総務省が構築し、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT:エヌアイシーティー)が運用しています。是非ご活用ください。

※情報提供のお願い  
Act-naviをより一層活用していただくため、今後も情報提供に努めてまいります。機関・団体から情報を提供していただくこともできます。ご協力の程よろしくお願いたします。

[概要を見る](#) → [利用方法を見る](#) →

## 【解 説】

次に紹介するのは「アクトナビ」です。アクトナビは、障害者や高齢者などが使いやすいICT機器やサービスの開発促進と情報共有を目的としたものであり、総務省が構築し、国立研究開発法人情報通信研究機構（エヌ・アイ・シー・ティー）が運用する情報アクセシビリティ支援のためのデータベースです。

障害のある人や高齢者とその支援者、および製品やサービスの開発者など、幅広いユーザーを支援するために設計されたデータベースです。

当事者・支援者向けには、製品・サービスの検索、相談先の案内、当事者のニーズ把握や調査レポートの閲覧が可能です。また、開発者向けには、当事者ニーズの把握、専門家・実証の場探索、製品・サービスの検索、関連統計情報の閲覧が可能です。



## 【解 説】

では、支援機器を選択してみたいと思います。まず、当事者・支援者を選択し、次に「製品・サービスを探す」を選択します。そして、困っていること、利用する場面を選択します。ここでは「聞く」と「仕事」にチェックを入れます。

次に、製品・サービスの 카테고리欄の「コミュニケーション機器」にチェックし、最後に「次の中から探す」の項目は任意ですが、「すべて選択する」をチェックしてみます。検索の結果は、2件の支援機器が該当しました。該当の支援機器については、それぞれ詳細を見ることができます。